

RiskFinder 16 提供開始 (Android OS 16 対応版)
～ 9 月 11 日リリース ～

タオソフトウェア株式会社(東京都中央区、代表取締役：谷口 岳、以下 タオソフトウェア)は、2025 年 9 月 11 日、Android アプリの脆弱性診断ウェブサービス「RiskFinder (リスクファインダー)」の新版となる「RiskFinder 16 (Android OS 16 対応版)」をリリースしました。

今回リリースした「RiskFinder 16 (Android OS 16 対応版)」は、Android の最新 OS である、Android 16 に対応したものとなります。

【「RiskFinder」について】

「RiskFinder」は、Android アプリの脆弱性(セキュリティホール)を診断する Web サービスです。ブラウザを経由してアプリケーションファイル(.apk、.abb ファイル)を「RiskFinder」サーバへアップロードするだけで、すぐに診断結果を得ることができます。「RiskFinder」は 2013 年 4 月のサービス開始以来、通信会社やアプリ開発会社、アプリ検証サービス会社、金融会社など、多方面で利用されています。

【Android OS 16 のセキュリティ情報】

Android OS 16 ではセキュリティに関しての大きな変更はありませんでしたが、Google Play Developer のポリシーの変更が比較的多くありました。ポリシー違反になるとアプリケーションのリリースができなくなり、最悪設計からの変更になるため、あらかじめ、アプリケーションが Google Play Developer ポリシーに準拠しているかを確認しておくことをお勧め致します。

OS バージョンアップルールの変更

AndroidSDK は従来年 1 回のバージョンアップをしていましたが、2025 年から年 2 回のバージョンアップがされる事が発表されました。

Android 15 は、2024 年 10 月 15 日にリリースされましたが、Android 16 は、従来よりも 4 か月程早く、6 月 16 日にメジャーリリースされました。また 2025 年 Q4 にマイナーリリースが行われます予定です。

メジャーリリースでは、新しい API とバグ修正、最適化等に加え、アプリに影響を及ぼす変更が含まれます。

マイナーリリースでは、新しい API とバグ修正、最適化等はされますが、アプリに影響を及ぼす動作の変更は含まれません。

「RiskFinder 16」は、Android OS 16 に対応した、Android アプリの脆弱性診断サービスです。セキュリティの問題個所を指摘し、改善案を提供致します。

【リスクファインダーについて】

社名 : タオソフトウェア株式会社

代表 : 代表取締役 谷口 岳

所在地 : 東京都中央区新川 2-3-1 セントラルスクエア 8 F

URL : <https://www.taosoftware.co.jp/services/riskfinder>